

学校教育目標

成長の実感

めざす子どもの姿

自分で考えたことを自分の言葉で表現できる子

育てたい5つの資質・能力

課題を見付ける力 課題を解決する力 考えを伝える力 共に学ぶ力 成長に気付く力

<重点1>

1 基礎学力の定着

評価指標：個の学力ののび

30%未満児童の変容

2 英語力アップ

評価指標：児童アンケート等

(例：外国語の学習が好きな児童の割合)

<重点2>

1 好ましい行動

評価指標：「挨拶」「はい」の返事

(聞こえる声で明確に)

2 くまいちスタイルの徹底

評価指標：聴く姿勢，整理整頓，4

秒礼，無言行動，身だしなみ等

<重点3>

1 体力・運動能力の向上

評価指標：ロング昼休憩実施率

50m 走力

2 遅刻数・欠席数の減少

評価指標：学期賞取得率 60%

遅刻者を減らす取組

<目標達成のための手立て>

- 思考の足あとが残るノート指導
(めあて・自分や友達の考え・振り返り)
- 思考を深める対話活動の充実
(ペア or グループトーク，自己内対話)
(「問う」説明，図や式を示しながら説明)
- 個の課題に応じた取組の充実
(熊チャレタイム，がん熊タイム，さよなら問題，基礎・基本の徹底)
- 外国語活動の授業スキルアップ
(校内研修の充実)

<目標達成のための手立て>

- 授業スタンダードの活用
(4秒礼・PPG，聴く姿勢)
- 生徒指導三機能を生かした学級づくり
(自己決定，自己存在感，共感的人間関係，褒める指導)
- くまいちスタイルの指導
(無言移動，無言掃除，靴そろえ，シューズのかかと，シャツIN)
- 効果的な取り出し指導
(教室外でクールダウン)

<目標達成のための手立て>

- 体力テストの個人目標値設定
- 体育の授業の工夫改善
(サーキット，課題のある種目強化)
- 競技力強化
(対外試合に向けた指導，引率等の協力体制づくり)
- 健康安全指導の充実
- 外遊びロング休憩の充実
- 学期皆勤賞取得への支援
- ストップ9の取組の充実

<指定事業等特色ある取組>

- **小学校外国語パワーアップ事業**：小学校外国語の指導方法の研究及び成果の普及
- **熊野町学力向上プロジェクト**：主体的で深い学びに至る授業改善
- **ユネスコスクール**：筆づくりの伝統と文化を継承した体験的学習の充実 (ESDの実践)
(低学年書道科，筆づくり体験・筆踊り，和太鼓「筆が舞う」)

<学力の現状>

- 1 学力テストでは，おおむね全国平均以上は達成できている。
- 2 活用力が伸びてきたが知識・技能の定着に課題がある。問題を解くスピードや量が不十分。
- 3 対話活動が深い学びにまで結び付いていない。

<生徒指導の現状>

- 1 気持ちのよい挨拶ができる児童が80%を超えているが，ハイの返事や発表の声が小さい。
- 2 無言移動は定着してきた。
- 3 ベル礼ができる学級が増加した。
- 4 交通ルールへの苦情は減少した。遅効児童が固定化している。

<体力・運動能力の現状>

- 1 年度当初の新体力テストにおいて，全96種目中，全国平均以上の種目が50種目程度まで伸びてきた。
- 2 ここ数年，年間無欠席児童数は安定して190人前後で推移している。

読む子

たくさん本を読む

遊ぶ子

外でたっぷり遊ぶ

食べる子

三食しっかり食べる